（1） う　　め

防除法 病害虫名	防除のポイント	薬剤防除 防除時期	RACコード	薬剤
1 縮葉病 *Taphrina mume*	1.早期に罹病葉を摘み取り、土中に埋める。 **〈薬剤使用の特記事項〉** 1.縮葉病対象に石灰硫黄合剤を12月上中旬に散布した園地では、黒星病の発生が少なくなる。	発芽前	M2	石灰硫黄合剤
2 黒星病 *Cladosporium carpophilum*	1.罹病した枝をせん定時に切り取り、処分する。 **〈薬剤使用の特記事項〉** 1.水和硫黄剤（イオウフロアブル、クムラス、コロナフロアブル、サルファーゾル）は28℃以上の高温時には使用しない。 2.ストロビードライフロアブルはうどんこ病にも登録がある。 3.フロンサイドＳＣの注意事項 ・散布後７日以内の入園はしない。 ・発芽期までの使用とする。	４月中下旬 ５月上中旬 ５月下旬 ～６月中旬	1 1 3 3 3 3 11 29 M2 M2 M2 M2 M3 M4 M7 M9 11･7	トップジンＭ水和剤 ベンレート水和剤 オーシャイン水和剤 オーシャインフロアブル オンリーワンフロアブル スコア顆粒水和剤 マネージＤＦ ストロビードライフロアブル フロンサイドＳＣ イオウフロアブル クムラス コロナフロアブル サルファーゾル ペンコゼブフロアブル オーソサイド水和剤８０ ベルクート水和剤 デランフロアブル （混）ナリアＷＤＧ
3 灰星病 *Monilinia fructicola* *M. laxa* *M. mumeicola*	1.ももの灰星病に準じる。	開花初め	1 3 3 3 11 M7	トップジンＭ水和剤 オーシャイン水和剤 オーシャインフロアブル オンリーワンフロアブル スクレアフロアブル ベルクート水和剤
4 環紋葉枯病 *Grovesinia pruni*	1.園内の通風をよくする。	収穫後 （７～８月）	1 11 M7	トップジンＭ水和剤 ストロビードライフロアブル ベルクート水和剤
5 灰色かび病 *Botrytis cinerea*	**〈薬剤使用の特記事項〉** 1.ストロビードライフロアブルはうどんこ病にも登録がある。	落弁期	3 11 M7 3･11	オーシャイン水和剤 ストロビードライフロアブル ベルクート水和剤 （混）ナティーボフロアブル
6 葉炭疽病 （炭疽病） *Glomerella cingulata* *Colletotrichum fioriniae*	**〈薬剤使用の特記事項〉** 1.トップジンM水和剤は葉炭疽病で登録がある。	収穫後 （７～８月）	1	トップジンＭ水和剤
7 かいよう病 *Pseudomones syringae* pv. *morsprunorum* *Erwinia* sp.	1.過剰施肥や肥料不足は発病を助長するので、適正な肥培管理をする。 2.防風対策をする。 3.罹病した枝はせん定時に除去し、処分する。	発芽前 （休眠前）	M1 M1 M1	ＩＣボルドー６６Ｄ Ｚボルドー ムッシュボルドーＤＦ
		４～５月	24 25 25 31 41･25	カスミン液剤 アグレプト水和剤 マイシン２０水和剤 スターナ水和剤 （混）アグリマイシン－１００
8 すす斑病 *Peltaster* sp.	1.園内の通風、排水を良好にする。 **〈薬剤使用の特記事項〉** 1.ストロビードライフロアブルはうどんこ病にも登録がある。	５月中旬 ～６月上旬	1 3 3 3 3 11 M3 M4 M7 M9	ベンレート水和剤 オーシャイン水和剤 オーシャインフロアブル オンリーワンフロアブル スコア顆粒水和剤 ストロビードライフロアブル ペンコゼブフロアブル オーソサイド水和剤８０ ベルクート水和剤 デランフロアブル

うめ

防除法 病害虫名	防除のポイント	薬剤防除 防除時期	RACコード	薬剤
9 白紋羽病 *Rosellinia necatrix*	1. 作物がない場合、禾本科の作物を３～４年栽培し、石灰などを施して有機物の分解を促進させる。 2. 前作物の罹病根は集めて処分する。 3. 小面積の場合は、焼土法を行うのもよい。 4. 栽植に当たっては、発病のおそれがあるところでは植穴に粗大有機物などを埋めな	休眠期	29	フロンサイドＳＣ
		病樹の治療	6	フジワン粒剤
	〈薬剤使用の特記事項〉 1. フロンサイドＳＣは休眠期に使用してもよいが、使用回数に注意する。 2. フジワンは樹幹部周辺の土壌を木の大きさに応じて掘りあげて根を露出させ、 病患部を削りとり、 更に腐敗根を取り除いて薬剤を罹病根部に適量塗り付け、残りの薬剤を掘りあげた土壌に混和しながら埋め戻す。 3. フジワンを重症樹に対しては、所定範囲内の多めの薬量を処理し、結果させないよう配慮する。			
10 切り口及び傷口のゆ合促進		せん定整枝時、病患部削り取り直後及び病枝切除後	1	トップジンＭペースト
11 ウメシロカイガラムシ	1. 冬期に､ワラ､ブラシなどでカイガラムシをすり落とす。 **〈薬剤使用の特記事項〉** 1. アプロードは、定着直後の幼虫に散布する。	１２月	UNM	スプレーオイル
		９月上旬	4C 16	トランスフォームフロアブル アプロードフロアブル
		収穫後	16	アプロード水和剤
12 アブラムシ類	1. 下草、周辺雑草を処分する。	３月下旬 ～４月下旬	1A 3A 3A 3A 3A 4A 4A 4A 4A 4A 4A 4A 4C 29	オリオン水和剤４０ アディオン水和剤 アグロスリン水和剤 スカウトフロアブル ロディー水和剤 アドマイヤー水和剤 アドマイヤー顆粒水和剤 モスピラン顆粒水溶剤 バリアード顆粒水和剤 ダントツ水溶剤 アルバリン顆粒水溶剤 スタークル顆粒水溶剤 トランスフォームフロアブル ウララＤＦ
13 ハダニ類	1. 下草、周辺雑草を処分する。 2. コテツフロアブルは、オウトウハダニでの登録である。	発生期	10A 13 20D 23 25A 33	ニッソラン水和剤 コテツフロアブル マイトコーネフロアブル ダニゲッターフロアブル ダニサラバフロアブル ダニオーテフロアブル
14 コスカシバ	1. 秋期に虫糞の出ているところを小槌でたたき、若齢幼虫を圧殺する。 2. ４月に加害部分を小刀で削り、幼虫を捕殺する。 **〈薬剤使用の特記事項〉** 1. ガットキラー乳剤、ラビキラー乳剤は樹幹部及び主枝に散布する。あらかじめ、虫糞、粗皮等を取り除いてから散布すると効果的である。	発芽前	1B	ガットキラー乳剤
15 ケムシ類 オビカレハ （ウメケムシ）	1. せん定時に卵がついている枝を切り取る。 **〈薬剤使用の特記事項〉** 1. マブリックＥＷは、オビカレハにのみ登録がある。	４月上旬 ４月下旬 ～５月上旬	3A 3A 11A 11A 11A	マブリックＥＷ ロディー水和剤 デルフィン顆粒水和剤 エスマルクＤＦ ファイブスター顆粒水和剤